

人権学習展開例〔第2学年〕

1 主 題 命の尊さを学ぶ

2 教材名

16 ニュースを聞いて

3 主題・教材について

子どもは社会的に弱い立場にあり、誘拐や性被害にあう可能性がある。また、被害にあってしまった場合、子どもは自分が悪いことをしたととらえがちになり、親などの安心できるおとなにも相談できずに、悩みを抱え込んでしまうこともある。

そこで、この教材を通じて、子どもたちが、被害から自分の身を守るようにするための方法を知り、実行できるようさせたい。さらに、被害にあった子どもはまったく悪くないということも伝えたい。

（関連教科・領域：国語科、道徳、特別活動）

4 ねらい

- ・おとなから自分の身を守るための方法を知る。
- ・少しでもいやなことがあったら、親や教師など安心できるおとなに話すことが大切であることを知る。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・この学習のねらいを知る。	・知らないおとななどから自分の身を守るために、どうすればよいかを考えることを伝える。	
展開	「ニュースを聞いて」を読んでみよう。 ・教材「ニュースを聞いて」を読む。 お話をふり返ってみよう。 ・登場人物はだれとだれだったかを発表する。 ・44～45ページで、「わたし」が「おとうさん」に尋ねたことを発表する。また「おとうさん」が答えたことを発表する。 ・46ページで、だれかに連れていかれないようにするために、「おとうさん」が言ったことをワークシートに記入し、発表する。	・教材を読み聞かせる。 ・だれが出てきて、どんな話をしたのかを聞き取らせる。 ・児童の発表を板書して整理する。 ・ワークシートを配布し、記入させる。	ワークシート
まとめ	いやなことがあったらどうしよう？ ・もし、これからいやなことや困ったことがあったらどうすればよいのか考え、ワークシートに記入し、発表する。	・発表された意見は否定しないで受け止める。 ・自分一人で悩むのではなく、親や教師など、安心できるおとなに話すことが大切であることを伝える。	

文：安藤由紀 絵：河原まり子 【参考資料】岩崎書店『とにかくさけんでにげるんだ』

おとうさんは、だれかにつれていかれないようにするために、
どうすればよいといいましたか。

- ・知らない人がはなしかけても（ ）
- ・よばれても（ ）
- ・いつもいくおみせの人や、ときどきみかける人でも（ ）
- ・おうちの人がよんでるっていわれても（ ）
- ・とにかく（ ）
- ・（ ）にたすけてもらうのもいい

もし、あなたに、いやなことやこまったことがおこったら、どうすればよいでしょうか。

[illegible]